平成28年3月29日発行

ひまわりクリニックきょうごく

ひまわり便り 第12号

インフルエンザについて

雪解けが進み、今年は少し早い春の訪れを感じますね。一方で、今年はインフルエンザの流行が長期化しています。そのため、今回はインフルエンザに罹った時のポイントについてお伝えさせていただきます。

インフルエンザの検査は受けるタイミングがポイントとなります。なぜなら、検査を受けるタイミングが早すぎると、インフルエンザウイルスが少なく本来はインフルエンザに罹っていても検査では陽性反応が出ない場合があるからです。インフルエンザウイルスの通常の増殖の早さを考慮し、発症後12時間以上経過しての検査を受けるのが良いとされています。

また、症状が出て３日目以降にはインフルエンザウイルスが体内で減り始めるので発症後 48 時間までに検査を受けないと確実な診断ができません。抗インフルエンザ薬の効果が低下するといわれていますので症状が継続する場合には、48 時間以内の受診をおすすめいたします。ただ、発熱や関節痛等の症状が強く緊急を要する場合には速やかに受診して下さい。

また、ご家族や職場など身近な方が罹っている場合には、抗インフルエンザ薬でウイルスの増殖を抑える予防投与をご希望される方もいらっしゃいます。イナビルというお薬での予防投与には以下の条件がありますのでご注意下さい。

慢性呼吸器疾患の方、慢性心疾患の方、高齢者（65 歳以上）、糖尿病の方、腎機能障害、

加えて、インフルエンザ検査を実施し、本人の希望と医師が必要と判断した場合にのみ対象となります。そのため受診時に医師にご相談下さい。

インフルエンザの症状は重いことが多く、「インフルエンザかな?」と思われたときには、適切にインフルエンザの検査を行って頂き、早期回復、２次予防につなげていただければと思います。

クリニックの外来診療について

写真のような外来担当予定表を、毎月の回覧と一緒にお配りしています。4 月は医師の外部での研修等により、外来担当日がこれまでと異なっている日もありますので、予定表をご確認の上来院されますようお願いいたします。なお、その日外来担当している医師を電話にて確認することもできますので、ご心配な時にはクリニックにお問い合わせ下さい。

（ひまわりクリニックきょうごく TEL42−2161）

また、火曜日・木曜日の午後についてはこれまで同様、医師と看護師が慶和園へ出向いての診療を行います。そのため毎週火曜日・木曜日の午後の外来は休診とさせていただいております。お薬が無くなりそうな時には、休診日と重ならないよう早めの受診をお願いいたします。

皆様にはご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。